

SSH活動レポート 韓国姉妹校との共同プロジェクト

光州ソフトウェアマイスター高校訪問

2025年12月28日～30日 場所：韓国 光州ソフトウェアマイスター高校



今年度、本校では、光州ソフトウェアマイスター高校（以下光州SWマイスター高校）と共に研究を行ってきました。>>過去の記事は[こちら](#)。今回は、本校生徒2学年生13名が光州SWマイスター高校訪問をし、最終の研究報告会を行いました。訪問当日は、午前中に研究所見学、午後に発表会と高校見学、という濃密な訪問になりました。

充実した最終発表会とアイディアフェスティバル見学

生徒は最終報告会に向けて、共同プロジェクトメンバーと最終打ち合わせをして、日本語・韓国語の2つで発表原稿の作成を進めました。実際の報告会では、光州SWマイスター高校の生徒からの質問に堂々と答える姿が印象的でした。また訪問時に、光州SWマイスター高校の1,2年生による成果発表会（アイディアフェスティバル）が行われており、生徒はアプリや装置、ゲームを見学したり、楽しく国際交流をしていました。

研究所見学

光州SWマイスター高校での生徒交流だけでなく、光州科学技術院（GIST）内にある研究所の見学も行いました。研究所では、太陽光パネルの素材やAIについて盛んに研究がされており、実験機器の設置されている研究室内や、太陽光パネルを製造している工場などを見学しました。先端の研究に触ることができ、生徒も興味津々でした。



参加した生徒の声

私は少し韓国語を知っていたので、現地ではより積極的に話すようにしました。質問をすることで、共同研究をしている相手だけでなく、初めて話した生徒さんとも、詳しい話を楽しみながらすることが出来ました。翻訳ではなく自分から話すことの大切さを実感しました。

最初は初めて会う人と一緒に研究を行っていくのか、言語の壁が大きいのではないかとすごく心配でしたが、いざ挑戦してみると楽しく研究を進めることができました。このプロジェクトを通じて、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを感じました。

私の班は多言語話者と視覚表現を用いてコミュニケーションを取る研究を行いました。意識的に連絡を取らないと研究が進まないため、スケジュール管理に苦労しましたが、互いに期限を決めて作業を進めることで、12月に発表することができました。

